

ADOBE® EXTENSION MANAGER®

ヘルプとチュートリアル

リンクしている一部のコンテンツは英語でのみ表示される場合があります。

2013 年 9 月



拡張機能の管理

MXI エLEMENTの概要
記事 (2013 年 5 月 30 日)

場所の指定
記事 (2013 年 5 月 30 日)

Extension Manager 設定ファイルリファレンス
記事 (2012 年 5 月 4 日)

Adobe Exchange
記事 (2012 年 4 月 4 日)
拡張機能のダウンロード

このページのリンク先ではコンテンツが英語のみで表示される場合があります。

拡張機能のダウンロードとインストール

[Extension Manager について](#)
[拡張機能のダウンロード](#)
[拡張機能のインストール](#)
[署名されている拡張機能について](#)
[関連項目](#)

拡張機能とは小規模なソフトウェアであり、これを Adobe アプリケーションに追加することで、そのアプリケーションの機能を拡張できます。拡張機能を追加できるのは、Dreamweaver®、Flash®、Photoshop®、InDesign®、InCopy®、Illustrator®、Adobe Premiere Pro® および Prelude® です。CS6 以降では、Bridge® はサポートされていません。

注意： MXP 拡張機能は Extension Manager CC ではサポートされなくなりました。Adobe アプリケーション用の MXP 拡張機能をインストールするには、まず ZXP 拡張機能に変換する必要があります。Extension Manager CS6 を使用すると、MXP 拡張機能を ZXP 拡張機能に変換ができます。Extension Manager CS6 は、http://www.adobe.com/jp/exchange/em_download/ からダウンロードできます。

Extension Manager について

[トップへ戻る](#)

Extension Manager を使用すると、各種アドビアプリケーションの拡張機能のインストールや削除、インストールされている拡張機能の情報検索を簡単に行うことができます。また、ここから Adobe Exchange サイトに簡単にアクセスできます。このサイトでは、他の拡張機能の検索、拡張機能に関する情報の参照、使用した拡張機能の評価などを行うことができます。

Extension Manager CC をまだインストールしていない場合は、対象のアプリケーションでヘルプ/拡張機能の管理をクリックすると、Extension Manager が自動的にダウンロードされてインストールされます。

注意： Extension Manager では、Extension Manager アプリケーションでインストールされた拡張機能、またはコマンドラインから Extension Manager の各コマンドでインストールされた拡張機能のみが表示されます。サードパーティ製のインストーラーを使用してインストールした拡張機能、またはローカルで設定ファイルを変更した拡張機能は、Extension Manager には表示されません。

Adobe Exchange Web サイト (www.adobe.com/go/exchange_jp) には、豊富な拡張機能が用意されています。使用したい拡張機能が見つかったら、その拡張機能が無償の場合は Extension Manager を使用してダウンロードし、アプリケーションにインストールできます。

拡張機能のダウンロード

[トップへ戻る](#)

Adobe Exchange では、特定の拡張機能に関する詳細な情報の取得、使用した拡張機能の評価、さらに多くの拡張機能の検索を行うことができます。

1. Extension Manager でファイル/他の拡張機能を手入を選択するか、Web ブラウザーで www.adobe.com/go/exchange_jp と入力して、Adobe Exchange にアクセスします。
2. 「ダウンロード」をクリックして、Adobe Exchange Panel をダウンロードします。
3. 「さらに詳しく」をクリックすると、Adobe Exchange Panel で他の拡張機能を検索してインストールする方法について、詳細を確認できます。

拡張機能のインストール

[トップへ戻る](#)

拡張機能をインストールするときには、Extension Manager のバージョンが、機能を追加する製品のバージョンと同一であることを必ず確認します。例えば、Dreamweaver CC の拡張機能をインストールする場合は、Extension Manager CC を使用します。以前のバージョンの製品の拡張機能を管理するには、該当する製品バージョンと共にインストールされた Extension Manager を使用します。

1. Microsoft Windows® エクスプローラー (Windows) または Finder (Mac OS) で、拡張機能ファイルをダブルクリックします。
2. 画面の指示に従います。
3. 署名されていない拡張機能に対して警告が表示された場合は、適切なボタンをクリックします。署名されていない拡張機能の中には、インストール前に警告が表示されないものもあります。

拡張機能が問題なくインストールされると、Extension Manager のワークスペースの下部に拡張機能の説明が表示されます。

以下の点にご注意ください。

- 一部の拡張機能では、アプリケーションを閉じて再起動した場合にのみ変更が有効になります。

- 拡張機能によって menus.xml などの設定ファイルが変更される場合、拡張機能をインストールする前に、Extension Manager により設定ファイルのバックアップ (menus.xbk) が作成されます。拡張機能によって設定ファイルが壊れた場合は、バックアップファイルで復旧できません。

注意：設定ファイルは手動で変更しないことを推奨します。誤った変更を行うと、製品の重要な部分に支障が生じ、他の拡張機能のインストールが妨げられることがあります。設定ファイルは、Extension Manager でのみ変更してください。

署名されている拡張機能について

[トップへ戻る](#)


デジタル署名は拡張機能の公開元を示します。デジタル署名には、署名者に固有で、容易に検証できる情報が暗号化されて保持されています。デジタル署名により、署名で示された公開元から拡張機能が提供されていることを保証できます。

デジタル署名の検証には、デジタル証明書が使用されます。デジタル証明書は、電子的に公開元の資格情報を確立します。証明機関から発行されたデジタル証明書では、公開元および特定の拡張機能が関連付けられていることが証明されます。この関連付けは、運転免許証の写真とその人物および個人情報が関連付けられているのと同じようなものです。アドビによって署名されている拡張機能には、VeriSign が発行した証明書が使用されています。アドビ以外の開発元が作成した拡張機能では、拡張機能の署名に他の信頼される証明書が使用されている可能性があります。

拡張機能の署名方法について詳しくは、www.adobe.com/go/learn_em_signextension_jp を参照してください。

関連項目

[トップへ戻る](#)

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

拡張機能の管理

- [Extension Manager の起動](#)
- [インストールした拡張機能の管理](#)
- [拡張機能セットの管理 \(CS6 のみ\)](#)
- [拡張機能に関する情報の取得](#)
- [環境設定](#)

Extension Manager を使用すると、Dreamweaver、Flash Professional、Photoshop、InDesign、InCopy、Illustrator、Adobe Premiere Pro および Prelude 用に開発された拡張機能を管理できます。Extension Manager のバージョンが、拡張機能が追加されている製品のバージョンと同一であることを必ず確認します。例えば、Photoshop CC の拡張機能を管理する場合は、Extension Manager CC を使用します。以前のバージョンの製品の拡張機能を管理するには、該当する製品バージョンと共にインストールされた Extension Manager を使用します。

Extension Manager の起動

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager は、スタートメニュー (Windows) またはアプリケーションフォルダー (Mac OS) から起動します。
Dreamweaver、Flash、InDesign など、ヘルプ/拡張機能の管理を選択して、Extension Manager を起動することもできます。

インストール済み拡張機能の管理

[トップへ戻る](#)

Extension Manager で、次のいずれかを実行します。

- 名前、バージョン、作成者などの列見出しをクリックして、インストールされている拡張機能を並べ替えます。
- 拡張機能を有効または無効にするには、拡張機能の隣にある「有効」チェックボックスを選択します。
注意：インストールした拡張機能の数が多い場合、それぞれを選択して有効または無効に設定すれば、アプリケーションのパフォーマンスを管理できます。
- 拡張機能を削除するには、製品リストからアプリケーションを選択し、拡張機能を選択して、「削除」ボタンをクリックします。拡張機能を削除すると、アプリケーションからアンインストールされます。
注意：Disabled フォルダーから手動で拡張機能を削除しないでください。手動で削除すると、設定ファイルに対する必要な変更が行われなくなります。

拡張機能セットの管理 (CS6 のみ)

[トップへ戻る](#)

拡張機能セットを使用すると、拡張機能を個別にはではなく、まとめて管理できます。同一セットに含まれる異なる拡張機能を有効または無効にできるうえ、1つの拡張機能を複数のセットに含めることもできます。セットを切り替えるだけで、複数の拡張機能をすばやく有効または無効にできます。

- 拡張機能セットを設定するには、ツール/セットを管理を選択し、拡張機能セットの作成、名前変更、削除を行います。
- 拡張機能セットを切り替えるには、右上のポップアップメニューで別のセットを選択します。

拡張機能セットを XML ファイルとして書き出し、別のコンピューターで読み込むこともできます。

- セットを書き出すには、「書き出し」ボタンをクリックし、書き出すセットを選択します (複数可)。
- セットを読み込むには、「読み込み」ボタンをクリックし、XML ファイルを選択します。

拡張機能に関する情報の取得

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager でリストされている拡張機能を選択すると、ワークスペースの下部に情報が表示されます。情報は以下のタブに表示されます。

説明 拡張機能および製品内でのその拡張機能のアクセス方法についての説明が表示されます。この情報は、拡張機能の作成時に開発元によって設定されます。

詳細 署名および依存情報があれば表示されます。

[トップへ戻る](#)


環境設定

環境設定には、拡張機能に関する警告の設定や、Extension Manager によるインターネットへのアクセスを許可するかどうかの設定が含まれています。環境設定にアクセスするには、[ファイル/環境設定](#)を選択します。

警告 署名されていない ZXP 拡張機能のインストール時に警告を表示するためのオプションがあります。署名されている拡張機能には、拡張機能の公開元についての情報もあります。拡張機能の公開元が判別できる場合、拡張機能のサイレントインストールが実行されます。この場合、「詳細」タブで署名情報を確認できます。拡張機能の公開元が判別できない場合は、警告が表示され、インストールを続行するかインストールをキャンセルするかをユーザーが決定できます。

アクセス制御 Extension Manager によるインターネットへのアクセスを許可するかどうかを指定します。このオプションはデフォルトではオンになっています。このオプションをオフにした場合、Extension Manager から Adobe Exchange を使用して、拡張機能を送信したり、オンラインヘルプやフォーラムにアクセスしたりできなくなります。

署名されている拡張機能について詳しくは、[署名されている拡張機能について](#)を参照してください。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

拡張機能の送信

拡張機能の種類とそのファイル形式

拡張機能のパッケージ化 (CS6 以前のバージョンのみ)

拡張機能の送信

新しく作成した拡張機能を Adobe Exchange の Web サイトで配布するためにアドビに送信する前に、Adobe Extension Packager を使用してパッケージ化することができます。Adobe ID で Adobe Exchange プロデューサーポータルにサインインして、Adobe Exchange Packager をダウンロードできます。拡張機能をパッケージ化した後は、Extension Manager を使用してローカルにインストールし、テストします。Adobe Exchange Web サイトの Exchange ヘルプ (www.adobe.com/go/exchange_jp) には、拡張機能の作成とテストに関するガイドラインが用意されています。拡張機能を作成してテストした後は、拡張機能をパッケージ化し、送信することができます。

拡張機能の作成については、『[Dreamweaver 拡張ガイド](#)』、『[Flash の拡張機能](#)』で詳細を確認できます。

拡張機能の種類とそのファイル形式

[トップへ戻る](#)

Extension Manager では、以下の種類の拡張機能とファイル形式がサポートされます。拡張機能インストールファイルの作成方法について詳しくは、Extension Manager CS 設定リファレンスを参照してください。このドキュメントは、Adobe の Web サイト (www.adobe.com/go/em_file_format_jp) からダウンロードできます。

通常の拡張機能 Creative Cloud 拡張機能ではない拡張機能です。通常の拡張機能は、ZXP 形式を使用してパッケージ化できます。

Creative Cloud 拡張機能 拡張機能メニューのパネルなど、Creative Cloud アプリケーションから直接アクセスする Web サービスです。この拡張機能は、アドビにより作成されている場合もアドビ以外の開発元により作成されている場合もあります。Creative Cloud 拡張機能には、公開元の検証済み署名が含まれています。例えば、CSXS_Adobe.zxp は、アドビによって署名されている zip ベースの Creative Cloud 拡張機能です。

ハイブリッド拡張機能 Creative Cloud 拡張機能のアクションパネルと Creative Cloud の強力な統合機能とを組み合わせることができます。例えば、Dreamweaver のフローティングパネルを使用すると、Web ブラウザーでページをプレビューできます。ハイブリッド拡張機能には、通常の拡張機能と Creative Cloud 拡張機能の両方が含まれます。

MXI 拡張機能名、拡張機能の説明、バージョン番号、種類など、拡張機能の属性を指定する XML ファイルです。MXI ファイルには、使用するカスタムアイコンなど、拡張機能に含まれる各ファイルも指定されています。拡張機能の説明を指定するには、テキストを記載した HTML を使用することも、ローカル HTML ファイルへのリンクを使用することもできます。インターネットに接続できる場合は、リモート HTML ページへのリンクを設定することも可能です。

ZXP zip ベースのパッケージ形式です。拡張機能の公開元を示すデジタル署名を付加することができます。

MXP 拡張機能のパッケージ形式として Extension Manager で従来サポートされていた形式です。この形式は CS6 では使用しません。CC ではサポートされなくなりました。従来の MXP パッケージは、Extension Manager CS6 でツール/MXP 拡張機能を ZXP に変換を選択して、ZXP に変換できます。

拡張機能のパッケージ化 (CS6 以前のバージョンのみ)

[トップへ戻る](#)

通常の拡張機能またはハイブリッド拡張機能をパッケージ化するには、以下の手順に従います。

注意： Extension Manager では、Creative Suite 拡張機能のパッケージ化はサポートされていません。Creative Suite の拡張機能は、Creative Suite SDK で作成できます。

1. 拡張機能を綿密にテストします。
2. (オプション) Extension Manager で拡張機能の横に表示するアイコンを作成します。アイコンは、24 x 24 ピクセルの PNG または GIF で作成してください。

独自のアイコンを作成しない場合、デフォルトのアイコンが使用されます。

3. パッケージ化しやすくするために、拡張機能のすべてのファイルを準備用のフォルダーにコピーします。

ファイルは、フォルダー階層の同じレベルになくてもかまいません。拡張機能インストールファイル (MXI ファイル — 次の手順を参照) で `<file>` タグを使用して、インストールファイルを基準にした各ファイルの相対パスを指定します。しかし、設定フォルダー内のインストール済みの場所から直接パッケージ化しないときは、すべてのファイルをまとめて管理する方が簡単です。

4. 拡張機能のインストールファイル (ファイル拡張子は .mxi) を作成します。
5. Extension Manager でファイル/ZXP 拡張機能のパッケージ化を選択します。

6. ファイルの選択ダイアログボックスが表示されたら、MXI ファイルを選択して、「開く」をクリックします。
7. パッケージファイルの保存場所を選択し、ファイル名を付けて（拡張子は .zxp）、「保存」をクリックします。

注意： 拡張機能のパッケージファイル名には、スペースを使用できません。また、Windows プラットフォームと Mac OS プラットフォームの両方で有効となるファイル名にする必要があります。


Extension Manager により、パッケージファイルが作成されます。このファイルには、MXI ファイルを含む、拡張機能のすべてのファイルが圧縮形式で収められます。

8. 拡張機能をインストールしてテストし、正常に動作することを確認します。

拡張機能の送信

[トップへ戻る](#)

1. Extension Manager でファイル／拡張機能の送信を選択します。
Adobe Exchange の送信ページがブラウザーに表示されます。
2. ページの指示に従い、確認メッセージが表示されるまで操作を続けます。

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)

コマンドラインからの作業

- Extension Manager のコマンドラインの基礎
- コマンドラインによる拡張機能のパッケージ化
- コマンドラインによる拡張機能のインストール
- コマンドラインによる拡張機能の削除
- コマンドラインによる拡張機能の有効化
- コマンドラインによる拡張機能の無効化
- コマンドラインによる Extension Manager の起動
- コマンドラインによる拡張機能の更新
- コマンドラインによる拡張機能の一覧表示
- コマンドラインによる拡張機能のアップデートの一覧表示
- BridgeTalk を介したコマンドの実行

Extension Manager CC では、Extension Manager ワークスペースで通常行う各種の操作を、コマンドラインを使用して実行できます。

Extension Manager のコマンドラインの基礎

[トップへ戻る](#)

特定の構文、コマンドおよび属性を使用することで、コマンドラインから拡張機能を管理できます。Extension Manager CC でコマンドライン構文が大幅に変更されました。Extension Manager CS6 以前で使用するコマンドライン構文については、[この記事](#)を参照してください。

- Windows では、スタート/すべてのプログラム/アクセサリ/コマンドプロンプトを選択してコマンドプロンプトを開きます。Mac OS では、アプリケーション/ユーティリティフォルダのターミナルアイコンをダブルクリックしてターミナルを開きます。
- 次のフォルダーに移動します。
 - Windows の場合：C:\Program Files\Adobe\Adobe Extension Manager CC\
 - Mac OS の場合：/アプリケーション/Adobe Extension Manager CC/Adobe Extension Manager CC.app/Contents/MacOS
- コマンドラインで、以下のように（二重引用符も付けて）実行可能ファイルを入力します。
 - Windows の場合："ExManCmd.exe"
 - Mac OS の場合："/ExManCmd"
- 実行可能ファイルの後に、目的のコマンドを入力します。

指定可能なコマンドは以下のとおりです。

Windows でのコマンド	MAC でのコマンド	説明	必要な属性
/help	help	コマンドラインのヘルプ情報を表示します。	
/launch	launch	コマンドラインから Extension Manager を起動します。	
/install	install	拡張機能をインストールします。	ZXP（ファイルパス）
/remove	remove	拡張機能を削除します。	拡張機能の名前
/enable	enable	拡張機能を有効にします。	拡張機能の名前
/disable	disable	拡張機能を無効にします。	拡張機能の名前
/list all	list all	インストールされているすべての拡張機能を一覧表示します。	
/list	list	指定した製品の拡張機能を表示します。	製品の名前
/update	update	拡張機能を更新します。	拡張機能の名前
/list_update all	list_update all	インストールの対象となる更新された拡張機能を一覧表示します。	
/list_update	list_update	指定した製品の更新された拡張機能を一覧表示します。	製品の名前
		Extension Manager の起動時の	

/locale	locale	ロケールを指定します。	言語
---------	--------	-------------	----

指定可能な属性は以下のとおりです。

属性	説明
zxp (ファイルパス)	ZXP 形式のパッケージファイルの名前と保存先を指定します。
lang	ロケール言語コード (ja_JP など) を指定します。
extension name	拡張機能の名前 (MXI ファイルで指定されている名前) を指定します。
product display name	拡張機能を使用する製品を指定します。

コマンドラインによる拡張機能のパッケージ化

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
- (Windows の場合) 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (CS4) : "Adobe Extension Manager CS4.exe" -package mxi="c:\myfile.mxi" mxp="c:\myfile.mxp"
 - (CS5 および CS5.5、MXP 形式) : "XManCommand.exe" -package mxi="c:\myfile.mxi" mxp="c:\myfile.mxp"
 - (CS5 以降、ZXP 形式) : "XManCommand.exe" -package mxi="c:\myfile.mxi" zxp="c:\myfile.zxp"
- (Macintosh の場合) 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (CS4/CS5/CS5.5、MXP 形式) : "./Adobe Extension Manager CSx" -package mxi="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxi" mxp="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxp"
 - (CS5 以降、ZXP 形式) : "./Adobe Extension Manager CSx" -package mxi="/myfolder/mysubfolder/myfile.mxi" zxp="/myfolder/mysubfolder/myfile.zxp"
- 拡張機能をインストールしてテストし、正常に動作することを確認します。

コマンドラインによる拡張機能のインストール

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
- (Windows の場合) 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
(ZXP 形式) : ExManCmd.exe /install "c:\myfile.zxp"
- (Macintosh の場合) 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
(ZXP 形式) : ./ExManCmd --install "/myfolder/mysubfolder/myfile.zxp"
- ロケールを指定するには、以下のように install コマンドの前に locale コマンドを付け、lang 属性を指定します。
ExManCmd.exe /locale "ja_JP" /install "c:\myfile.zxp"
- 拡張機能をテストし、正常に動作することを確認します。

コマンドラインによる拡張機能の削除

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
- 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /remove "サンプル"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --remove "サンプル"

extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

コマンドラインによる拡張機能の有効化

[トップへ戻る](#)

- Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
- 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /enable "サンプル"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --enable "サンプル"

extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

コマンドラインによる拡張機能の無効化

1. Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
2. 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /disable "サンプル"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --disable "サンプル"

extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

コマンドラインによる Extension Manager の起動

1. Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
2. 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /launch "ja_JP"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --launch "ja_JP"

lang 属性で、Extension Manager のロケール言語コードを指定します。

コマンドラインによる拡張機能の更新

1. Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
2. 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /launch "ja_JP"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --launch "ja_JP"

extension 属性で、拡張機能の名前を指定します。

コマンドラインによる拡張機能の一覧表示

1. Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
2. 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /list all "Photoshop CC 64"
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /list "Photoshop CC 64"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --list "Photoshop CC 64"

システムにインストールされているすべての拡張機能を一覧表示する場合は、all 属性を使用します。特定の製品の拡張機能を一覧表示する場合は、製品名属性を使用します。

コマンドラインによる拡張機能のアップデートの一覧表示

1. Extension Manager のアプリケーションフォルダーに移動します。
2. 必要な属性値を付けて以下のコマンドを入力します。
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /list_update all "Photoshop CC 64"
 - (Windows の場合) : ExManCmd.exe /list_update "Photoshop CC 64"
 - (Macintosh の場合) : ./ExManCmd --list_update "Photoshop CC 64"


システムにインストールされている更新可能なすべての拡張機能を一覧表示する場合は、all 属性を使用します。特定の製品の拡張機能を一覧表示する場合は、製品名属性を使用します。

BridgeTalk を介したコマンドの実行

Extension Manager では、BridgeTalk から渡されたインストールコマンドを実行できます。Extension Manager にコマンドを送るには、対象の BridgeTalk 識別子を "exman-7.0" として指定します。

```
Windows の場合 : var bt = new BridgeTalk(); bt.target = "exman-7.0"; bt.body = "C:\\test.zxp"; bt.send();
```

```
Mac OS の場合 : var bt = new BridgeTalk(); bt.target = "exman-7.0"; bt.body = "/Volumes/x1/test.zxp";  
bt.send();
```

 Twitter™ および Facebook の投稿には、Creative Commons の規約内容は適用されません。

[法律上の注意](#) | [プライバシーポリシー](#)